

協議事項 (2) 市民バス (のろっさ) の運行見直しについて

1. 市民バスの運行状況

- (1) 利用者数推移 資料 2-①
- (2) 路線ごとの利用者数 資料 2-②
- (3) その他利用状況
 - ・回数券についての実績 資料 2-③
 - ・運転免許自主返納支援事業の実績 資料 2-④
- (4) 市民バスの基礎データ一覧 資料 2-⑤

2. 市民バスの運行見直しスケジュール

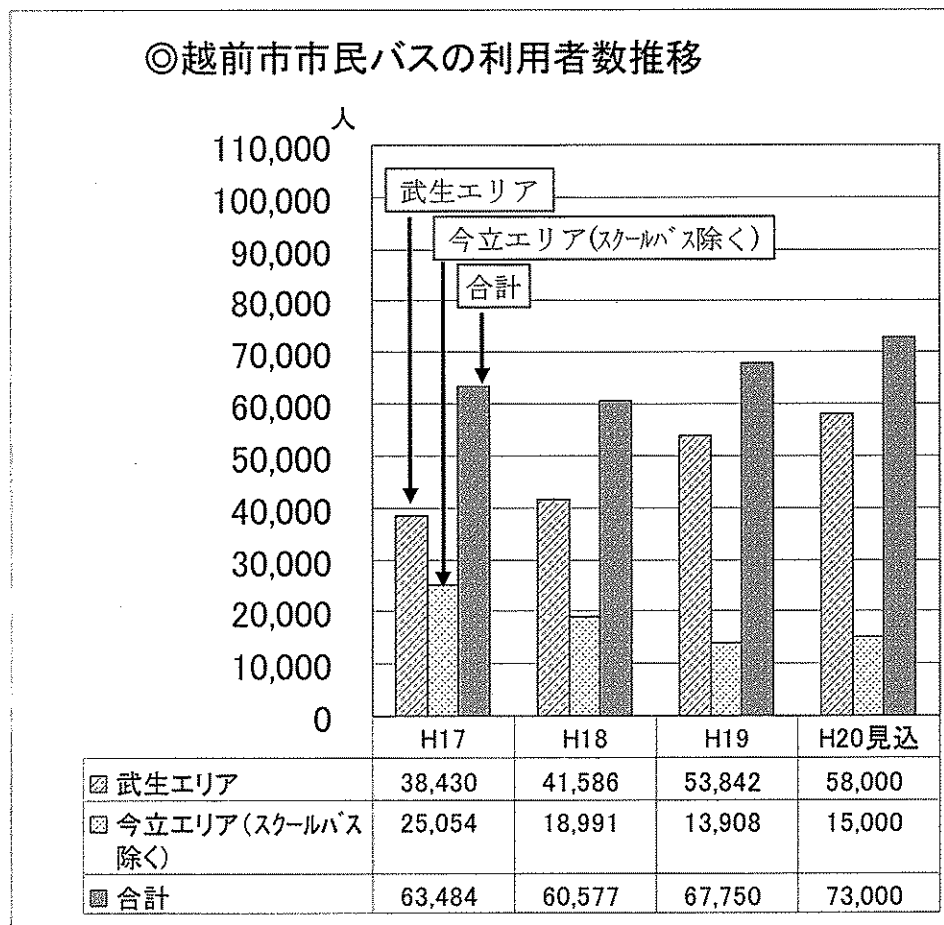
平成 21 年 8 月を目途に、運行見直し案をとりまとめる。

項目	H20年度					H21年度											
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<利用者調査、意見集約>	▶																
・利用者アンケート	■ 11/24~12/6																
・利用者グループインタビュー	● 1/26~1/29																
・公民館へ意見募集チラシ配置		■ 2/6まで															
・区長を通じた意見募集		■ 2/6締切															
・広報 (意見募集掲載)		●															
・市ホームページによる意見募集		■ 2/6締切															
・地域ふれあいサロンでの意見募集				■ 3/6締切													
・運行会社や運転手の意見集約					●												
地域公共交通会議					● 3/24												
見直し素案の作成				▶													
意見集約 (地域ミーティング等)						▶											
地域公共交通会議									●								
見直し素案 (修正) とりまとめ								▶									
地域公共交通会議										●							
予算 (債務負担行為)											●						
総合評価型入札の執行												▶					
委託事業者の決定														●			
運輸局への届出・認可															▶		
H22年度運行開始																	▶

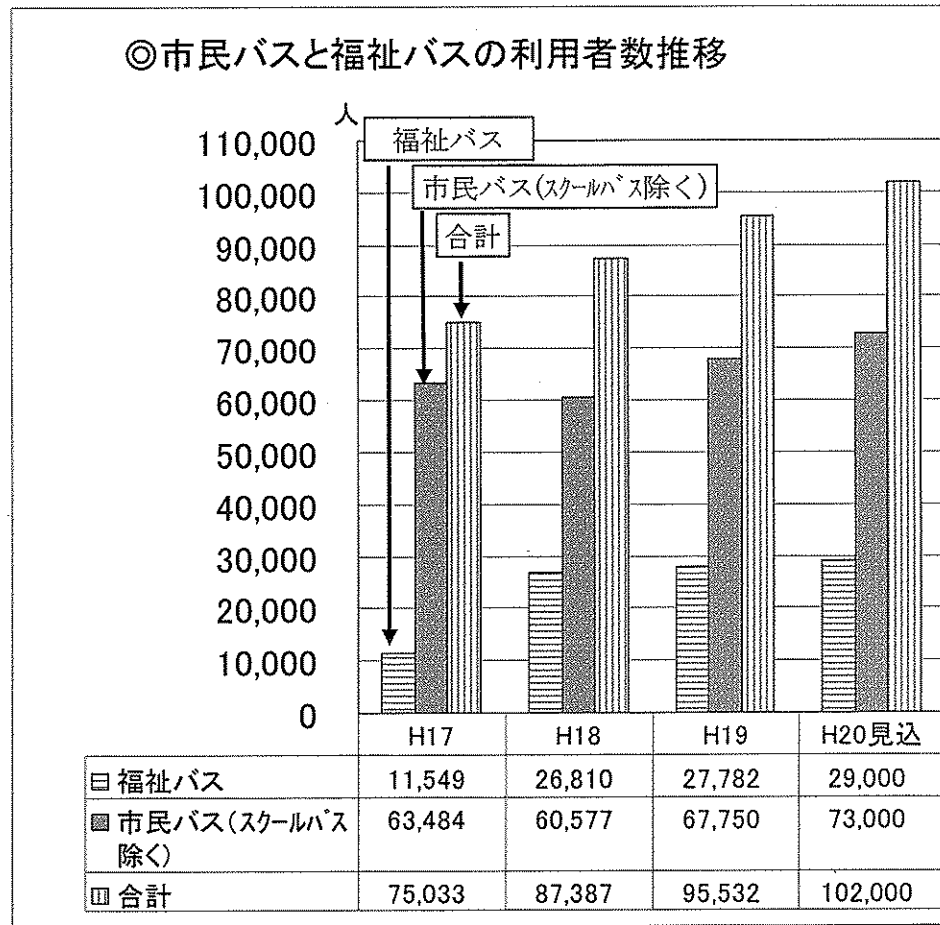
3. 市民バス利用者アンケート調査の結果 資料 2-⑥4. 市民バス運行見直し 課題の整理 (中間) 資料 2-⑦

【市民バスの利用者数推移】

《グラフ 1》

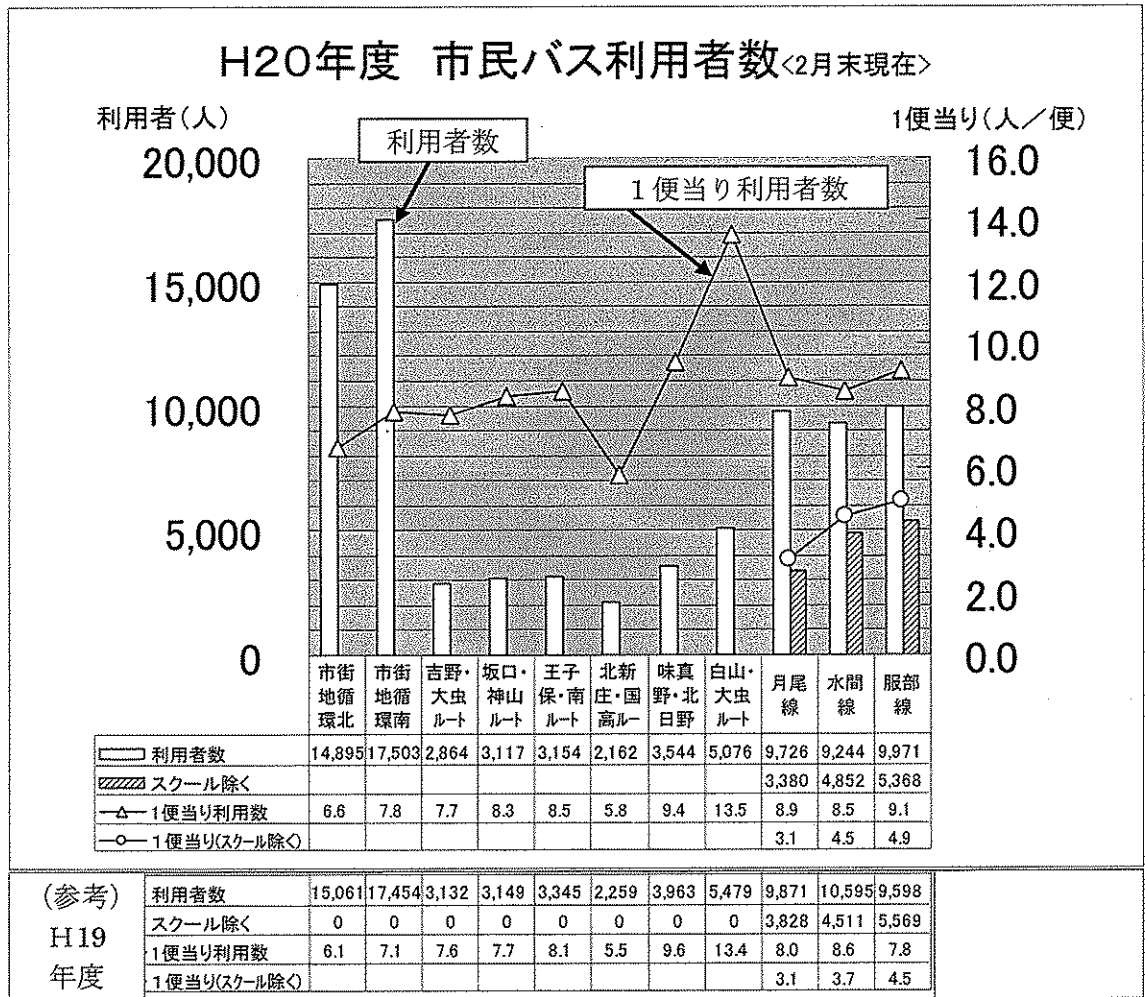


《グラフ 2》



【路線ごとの市民バス利用者数】

《グラフ 3》



資料2-③

越前市市民バス 回数券についての実績

(1)回数券販売数

◎回数券…11枚綴りの乗車券を1,000円で販売(車内販売)

武生エリア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	51	111	138	100	116	105	135	111	109	108	121	115	1,320
H20年度	111	114	121	153	130	138	148	113	158	160	133		1,479

今立エリア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	19	33	23	33	20	19	22	24	15	11	20	21	260
H20年度	18	17	24	28	24	21	30	31	20	20	23		256

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	70	144	161	133	136	124	157	135	124	119	141	136	1,580
H20年度	129	131	145	181	154	159	178	144	178	180	156	0	1,735

(2)回数券での乗車数

武生エリア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	160	892	1,165	1,259	1,213	1,253	1,429	1,258	1,225	1,215	1,424	1,291	13,784
H20年度	1,234	1,254	1,359	1,508	1,507	1,480	1,639	1,468	1,530	1,433	1,630		16,042

今立エリア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	53	246	284	249	240	222	221	249	229	146	169	203	2,511
H20年度	205	197	214	279	229	159	324	266	293	178	242		2,586

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	213	1,138	1,449	1,508	1,453	1,475	1,650	1,507	1,454	1,361	1,593	1,494	16,295
H20年度	1,439	1,451	1,573	1,787	1,736	1,639	1,963	1,734	1,823	1,611	1,872	0	18,628

(3)スマイリーカード⇒回数券の交換数

◎スマイリーカード会との提携

武生商工会議所「スマイリーカード会」の協力により、同会が発行しているポイントカード(満点カード:500円相当)を市民バスの回数券(1,000円)に交換することができる。

武生エリア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	3	8	8	13	7	6	7	9	4	6	9	5	85
H20年度	7	3	8	7	8	8	8	10	5	12	7		83

今立エリア

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H20年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0

合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度	3	8	8	13	7	6	7	9	4	6	9	5	85
H20年度	7	3	8	7	8	8	8	10	5	12	7	0	83

◎越前市市民バス 運転免許自主返納支援事業の実績

(1) 運転免許自主返納者への無料乗車券交付数

(H21年2月末日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度							5	7	1	7	2	3	25
H20年度	6	3	2	2	5	5	4	1	2	8	5	-	43

68

H19年10月～12月交付数 13 (4.3人/月)

H20年1月～12月交付数 42 (3.5人/月)

H21年1月～2月交付数 13 (6.5人/月)

○年齢構成

年齢	交付数
65～69才	1
70～79才	31
80才～	36
合計	68

○交付した無料乗車券の有効期限

区分	交付数
1年	47
1年以上	15
2年以上	6
合計	68

(2) 運転免許自主返納者の市民バス乗車数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H19年度							0	0	29	43	38	40	150
H20年度	57	55	50	43	46	37	66	47	34	69	69	-	573

H19年10月～12月乗車数 29 (9.6人/月)

H20年1月～12月乗車数 556 (46.3人/月)

H21年1月～2月乗車数 138 (69人/月)

市民バス運行見直し 課題の整理(中間)

市民バスの基本的な考え方	路線バスの運行のない交通の不便な地域に住む人に対し、最小限の移動手段を提供し、通院、買物等のに日常生活を支援する。
市民バスの見直しについての考え方	1. 利用者や地域住民の意見を集約する中で、現行の運行内容を基本としながら、所要の改善を図り、本格運行開始後3年を経過する平成22年度の運行から見直しを反映させる。 2. 福武線の新駅設置やP&R駐車場の新設などが計画されており、JRを含め市民バスとの連携を強化することにより、公共交通の利便向上を図る。

主な論点	課題	主な意見	対策の方向(案)
鉄道(JR、福武線)、路線バスとの接続改善。	ダイヤの見直しなど、通勤・通学利用者の利便性向上	循環ルートでは通勤利用がみられ、朝少し早く、夕方少し遅い便の希望があった。また、福武線とのダイヤ接続改善について要望があった。	早朝便と夕方便の検討。 鉄道(JR、福武線)、路線バス、湯楽里バス等のダイヤとの調整を図る。
福武線の新駅設置や西武生駅周辺整備に対する対応	循環ルート・郊外ルートのルート見直し		新駅対応の停留所(循環北ルート、吉野・大虫ルート)を検討。 西武生駅とのアクセス強化を検討する。
路線バス・市民バスの共存	料金体系の違い、乗り継ぎ利便の向上	路線バス沿線住民に、市民バス(100円)との不公平感がある。	路線バスと市民バスとの共存方策について、事業者と共に検討。 運賃について、公平性や利用促進の観点から検討を行う。
	運賃の検討(不公平感の是正)	バスの運行継続や利便性向上のためなら、運賃が多少高くなっても構わないという意見がある。	
利用の少ない路線の見直し	北新庄・国高ルートは、1便当り利用人数が最も低い(H19で5.5人)。本来、潜在需要は多い地域であると考えられ、国高地区の特性(買物、病院等の施設が多く、移動が区内で完結)も考慮のうえ対策が必要。	ルートが冗長であることに、北新庄地区から不満の声がある。 国高地区は、循環ルートに比べてバスサービス格差があるとの意見(路線バスと市民バスとの料金格差、運行本数の格差)。	運行ルートのあり方、利用増加策の検討。
	効率的な運行方法の検討	ひとつの路線でも乗車が少ない地域と多い地域が見られる。「乗車が少ないのに大きいバスが走るのはもったいない」という意見があった。	
今立エリアのルート見直し	中心市街地(粟田部)のルートが混み入っている。より合理的なルートの検討。	利用者からの不満は特にない。 コメリ今立店周辺へのアクセス向上の希望あり。	ルートの見直し
旧武生市街地-旧今立市街地の結節強化	路線バスとの接続改善、強化が必要。	南越線のダイヤについての要望があった。	路線バスを含め、運行ダイヤの調整。 乗り継ぎサービスの検討。
日曜日の運行	費用対効果	買物、イベント、観光など、日曜日の運行に対する要望がある。	ルートの選定や費用対効果による検討。
運行ルートや停留所の位置など、個別の意見・要望	路線の冗長化など、効率の悪い路線とならないか	運行ルートや停留所の位置など、個別の意見・要望がある。	現行路線や停留所を基本としながら、改善効果を検討し、有効なものは実施する。
運行サービスの改善	ソフト面での改善	割安な乗車券や、商店とのタイアップなどの工夫が必要との意見あり	回数券のお楽しみ特典の充実を図る。 その他、利用促進策の検討。